

2026.10.5

2026年度 実験動物慰霊祭が執り行われました。

2026年10月5日（月）、桐蔭横浜大学Ⅲ号館において、2026（令和8）年度の実験動物慰霊祭を執り行いました。式典の冒頭、動物実験委員会委員長の大辻准教授より、実習や研究で動物を扱う参加者に対し、本式典が命を捧げた生き物への感謝を示す場であることの再確認と、今年度で使用された実験動物の概要報告がありました。次に、森朋子学長からのメッセージ（代読）として、動物実験が生命科学や医用工学などの進歩に寄与する一方、高い倫理観や動物福祉への配慮、3R原則に基づく必要性・妥当性の検討が常に不可欠であることが強調されました。そして、医療や科学の進展に欠かせない動物実験において、常に命の重みを胸に刻み、責任ある研究活動が続けていくよう参加者に呼びかけました。続いて、先端医用工学センター長の吉田薫教授から今年度の施設概況の説明とともに、設備維持や廃棄物処理等を担うすべての関係者への謝意が述べられました。その後、会場にて実験に用いられた動物たちへ黙祷を捧げ、参加者全員が屋外の慰霊碑前で合掌を行い、今年度の実験動物慰霊祭を終了いたしました。厳粛な雰囲気の中、動物たちの犠牲の上に成り立つ研究の責任を改めて胸に刻む機会となりました。桐蔭横浜大学は、今後も動物愛護の精神を尊重し、適切な管理と高い倫理観に基づく研究活動を推進してまいります。



慰霊祭



実験動物慰霊碑(参拝)

